

大賞

ぼくのおじいちゃん

第二峡田小学校 一年 高橋 颯輝

やなぎだくにおせんせいへ

ぼくには、だいすきなおじいちゃんがいます。としては92さいです。ぼくは『いいからいいから』のえほんがすきです。このえほんにはおじいちゃんがでてきます。

いつも「いいからいいから」といつて、ににににしています。だから、ぼくのおじいちゃんとおなじだとおもいました。

このえほんのおじいちゃんは、ゆづれいのおきやくさんやかみなりのおやこがでてきても、いつも「いいからいいから」といつているのがおもしろいです。おじいちゃんのかおのえもおもしろいです。やなぎだせんせいによんでほしいです。

いちばんおもしろいのは、かみなりがとつたおへそをおじいちゃんのおでこにつけたところです。

いま、ぼくのおじいちゃんにゆづいんしています。

ぼくは、たべるときにおてつだいをします。そのときも「ありがとう、ありがとう」といつてくれます。

ぼくがさんすうのたしざんをやると、おじいちゃんもゆびでかぞえてくれます。ぼくのほづがはやくできます。いつしよにやっていると、きも「ありがとうありがとう」といいます。「ありがとうありがとう」のほんみたいです。こんどおじいちゃんによんであげます。

「いいからいいから」のおじいちゃんみたいになんきがでるといいです。おじいちゃん、よろこんでくれるかな。

【柳田邦男さんからのメッセージ】

入院中だという92歳のおじいちゃん、お元気ですか？颯輝くんのおじいちゃんは、どんなこわいことがあっても、「いいからいいから」といって安心させてくれるし、笑わせてもくれる絵本『いいからいいから』のおじいちゃんとおなじだと思ったというのですから、きつと颯輝くんにもやさしいんでしょうね。

実際、颯輝くんがおじいちゃんの食事の時にお手伝いをする、「ありがとう、ありがとう」といってくれるし、算数の足し算をすると、一緒に指で数えてくれながら、「ありがとう、ありがとう」といつてくれると書いているので、おじいちゃんが颯輝くんのことを心からかわいく思っているようすが、とてもよく伝わってきます。そのおじいちゃんを主人公にした絵本をつくつたら、『ありがとうありがとう』という本になりそうだという颯輝くんの想像力は面白いよ。お父さん、お母さんに手伝ってもらっていいから、その絵本をつくってみようよ。

そして、こんどおじいちゃんに『いいからいいから』を読んであげようと思ったこと、すばらしい気づきです。すごく喜ぶと思うよ。絶対に読んであげてね！